

第三回

津花之段

おはなし

梅内美華

狂言

千鳥

山本東次郎

仕舞

鶉之段

友枝昭世

# 能 鳥頭

間狂言・外ノ浜の浦人

山本泰太郎

前方・狐師の子千代童  
シテ連・狐師の妻  
前シテ・老人  
後シテ・狐師の靈

友枝 真也

内田 利成  
佐々木 多門

ワキ・旅僧  
宝生 欣哉

大鼓 柿原 光博  
小鼓 成田 達志  
笛 一噌 隆之

後見  
塩津 哲生  
佐藤 寛泰

地謡  
塩津 圭介  
内田 成信  
友枝 雄人  
金子敬一郎  
狩野 了一  
中村 邦生  
友枝 昭世  
長島 茂

# 仕舞 鶉之段

友枝 昭世

# 狂言 千鳥

シテ太郎冠者

山本東次郎

アド・主 山本凜太郎  
アド・酒屋 山本 則孝

おはなし 梅内美華子

終了予定 五時頃



友枝 真也

1969年東京生まれ。上智大学法学部法律学科卒業。故友枝喜久夫の孫。喜多流十五世宗家故喜多実入門、友枝昭世、塩津哲生に師事。1972年仕舞「月宮殿」にて初舞台。1984年「経政」にて初シテ、2004年「狸々乱」、2008年「道成寺」、2011年「石橋(赤獅子)」を披く。「洩花之能」主宰。「燦ノ会」同人。2014年重要無形文化財総合指定。



山本東次郎

1937年東京生まれ。三世山本東次郎の長男。1961年に國學院大學日本文学科卒業。1942年に山本会「痿痺」のシテで初舞台。1952年「三番三」、1958年「釣狐」、1971年「花子」を披く。1972年に「獅子髻」を復曲。四世山本東次郎を襲名。1992年芸術選奨文部大臣賞。1994年親世寿夫記念法政大学能楽賞。1998年に紫綬褒章。他受賞多数。2012年重要無形文化財各個認定(人間国宝)。日本芸術院会員。



梅内美華子

1970年青森県生まれ。歌人。馬場あき子に師事、歌誌『かりん』編集委員。同志社大学文学部卒業。1991年『横断歩道(ゼブラゾーン)』で角川短歌賞、2001年『若月祭(みかづきさい)』で現代短歌新人賞、2012年『エクウス』で芸術選奨文部科学大臣新人賞、葛原妙子賞、短歌研究賞。2013年青森県褒賞。2016年青森県文化賞。歌集歌書に『真珠層』『現代歌枕 歌が生まれる場所』等。

## あらすじ

### 千鳥(ちどり)

酒の調達を命ぜられた太郎冠者ですが、今までの支払いがまだなので酒屋へ行くのを渋ります。しかし主に褒美を出すと云われ、やむなく向かいます。案の定酒屋は太郎冠者の所望を突っぱねますが、太郎冠者は珍し物好きの酒屋に様々な話を聞かせて…。

葛桶を酒樽に見立て、劇中では太郎冠者がそれをさらに千鳥をはじめ様々なものに見立て、なんとかして酒樽を持ち帰ろうとする仕方話が見どころです。

### 鳥頭(うとう)

陸奥の果て、外ノ浜に住む「鳥頭」という鳥は「ウトウ」と啼き掛けると子が「ヤスカタ」と応える、また子を獲られると空から血の涙を流すので狩りには蓑笠が必要であるという伝説を元に作られた能です。「陸奥の外の浜なる呼子鳥 鳴くなる声は うとうやすかた」という和歌が説話とともに広く知られていました。能ではその後半、鳥頭を殺し続けた罪で狐師が地獄で受ける苦患を写實的に描き、緊張感ある場面が見どころです。前半では場面を三大霊場の一つでその地形を地獄に見立てられた越中の立山にする事で、狐師の境遇と結びつけ一曲全体の凄惨さを印象づけています。

## ■予約開始

2018年4月16日(月)10:00am~

## ■チケットのご案内

- S席 8000円
- A席 6000円
- B席 5000円
- 二階自由席 4000円

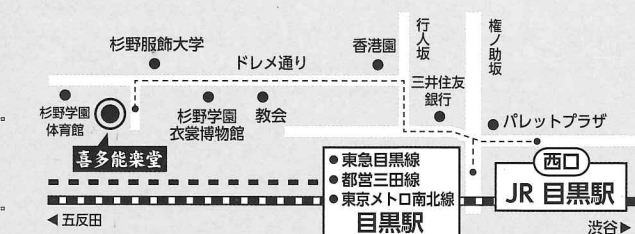
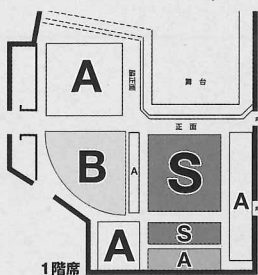
学生の方、中学生以下の方を御同伴の方には割引があります。お問い合わせください。

友枝家公式ウェブサイト

「友枝家の能」からもお申込み・お問合せいただけます。

<http://tomoeda-kai.com/>

※公演中止の場合を除き、ご購入後のチケットの払い戻し、変更、再発行はいたしません。



※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車での来場はご遠慮願います。

## ■お申込み・お問合せ

TEL:03-3491-8813

公益財団法人 十四世六平太記念財団

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021東京都品川区上大崎4-6-9

## 【交通案内】

JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分